

上井靖さん(62)
愛知教育大非常勤講師



人は見たい物を見て、知りたいことしか知ろうとしません。今こそ、新型コロナウイルス感染症が引き起こす事柄について、どんな関心や疑問があるのか、家族で出し合ってみませんか。

関心や疑問を基に、学校で学ぶ教科と結び付けて考えるのです。「ウイルスと細菌はどう違うの?」は理科や保健。「株価って何? ガソリンの値段がなぜ急落するの

「なぜ?」調べてみよう

「?」なら、グローバルな経済関係なので社会科ですね。「命と経済のどちらが大切なの?」はジレンマから考える道徳。感染者数の変化をグラフで表すことは、算数の学びになります。

自ら発した問いを解決するには情報が必要です。インターネット環境がなくても、ニュースを伝えるテレビや新聞、教科書などを駆使して自分なりに調べ、自分の問いへの答えを作ります。

学問は「自ら問う」ことから始まります。画一的な課題をこなすのが目的ではありません。自らの問いと、学校で学ぶことがつながることが重要。教科の壁を越えて、すべてがつながっていることに気が付きます。

まさに今のリアルから学ぶことにより「自分の人生をどうしていきたいか」を考え、行動する主体性が引き出されます。(談)